

競技上の注意

〔全般的な事項〕

- この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程および新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドラインにより行います。
- 審判はすべて主管者にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗では準々決勝、個人対抗では準決勝より配置します。その他のマッチにおいては原則としてつけません。
- プレーヤーはマッチ開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
- 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
- マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
- マッチを連続して行う場合の休憩は次のとおりです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する場合は30分間とします。同一対抗でオーダー上連続しないプレーヤーが連続してマッチを行う場合は、10分間とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗(単・複)が連続する場合は20分間とします
- インターバル中にアドバイスできるのは、監督・コーチなど1人までです。主審の「(コート番号)20秒」のコールで、コートから離れてください。コーチ席は1席設けます。また、チーム関係者がラケット交換や水分等の補給のために競技区域に入ることはできません。
- マッチ中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
 - タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。
 - 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用して下さい。
 - 氷嚢は、ベンチ、コーチ席で保冷バッグなどに入れ保管してください。
- サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。
- プレーの中止は、主審が認めた場合を除き、一切認められません。なお、ケガ等の場合、レフェリー及び医療役員の判断により、一度だけスプレーの使用を認めることができます。
- 次のような違反行為に対しては厳正に対処します。(競技規則第16条)
 - 体力や息切れを回復できるように、またはアドバイスを受けるためにプレーを遅らせること。
 - 主審の許可なしにコートを離れること。
 - インターバル時間を超えてコートに戻ること。
 - プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
 - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
 - 相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
 - 言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたまゝ、または脅迫しようとする。
 - 競技規則を超えた不品行または不快な行動。
- 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
(背面の文字は明確に判読できるもの)
- 競技中のケガや病気については、主審がレフェリーコールを行いレフェリーの判断に従うことになります。
- 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該プレーヤーと監督、個人対抗では当該プレーヤーに限ります。(監督は「Dカード」を必ずつけてください)
- プレーヤーは試合終了後のプレーヤー同士、及び主審(サービスジャッジ)との握手は省略してください。
- 競技フロアでは、チーム役員(部長、監督、コーチ、マネージャーなど)およびプレーヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源をOFFにしてください〔公認審判員規程第5条第12項(5)(6)〕。
- コーチ(コーチ席に座る者)はマッチにふさわしい服装で臨んでください。また着衣については、背面、広告、ロゴ等の取り決めが適用されています。取り決めに反する場合には、コーチ席に着席できません。
- その他は、監督会議における打ち合わせ事項の通りとします。

[学校対抗に関する事項]

1. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認めません。
2. 1回戦に出場する学校は、試合前に試合会場での練習があります。詳しくは、公式練習割当表をご確認ください。また、2回戦からの学校は練習会場を割り当てています。詳しくは、練習会場タイムテーブルおよびコート割り当て表【別表1】をご確認ください
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封しています。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、切り取らず5枚とも提出してください。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦校立会いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守でお願いします。なお、競技1巡目は8:30とします。2巡目からのオーダー交換の時間は、放送でお知らせします。
6. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い場合は「棄権」とします。
7. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー5～7名）は、放送の指示に従い、指定コートのショートサービスライン上に整列してください。
8. ベンチはありませんが次のマッチ対戦者用の待機席を設けます。
9. マッチ開始前のウォームアップは、対戦チームとあいさつを交わした後、各マッチ毎に主審が審判台に座った時から3分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いる場合も同様に、マッチの開始前に3分間行ってください。
10. マッチは、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。
11. マッチは、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
12. 勝敗決定後は、対戦チームとあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝利チームから退場してください。
13. マッチ前、円陣を組んでのエールは禁止します。

[個人対抗に関する事項]

1. プレーヤーの変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 個人対抗1回戦に参加するプレーヤーは、試合前に練習会場での練習があります。詳しくは、公式練習割当表をご確認ください。また、2回戦から出場するプレーヤーは練習会場を割り当てています。詳しくは練習会場タイムテーブルおよびコート割り当て表【別表2】をご確認ください。
3. プレーヤーは、放送の指示により、指定のコートに集まってください。
4. マッチ開始前のウォームアップは、あいさつの後、主審が審判台に座った時から、同時に3分間とします。なお、単の場合、対戦者同士で行ってください。その際、シャトルは大会本部が用意します。
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝者から退場してください。

[一般上の注意]

1. 各競技会場の開場は、8:00です。開場後の入場は1巡目のチームまたは選手を優先してください。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用（首にかける）の上、「受付」検温・健康チェックシート（様式2）の提出を済ませてから入場してください。
3. 各競技場では、担当者の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食を禁止します（「競技上の注意・全般的な事項8」に関するものは対象外とします）。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。床が濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗、応援旗を使用する際は、競技に支障をきたすことがないように配慮してください。大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示によってすみやかに撤去してください。（日本フネン市民プラザにおいては係が掲示しますので受付にてお預けいただき、お帰りの際に受付に申し出てください。）
6. 応援は拍手のみとし、声援や手拍子、太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援、歌や長く手を叩く応援、客席・ベンチ共に立ち上がっての応援は禁止します。監督が責任を持って指導してください。
7. 観客席以外の通路など公共スペースの使用ルールとマナーを守るようご協力ください。更衣室や通路などを占有使用することのないよう、監督が責任を持って指導してください。
8. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。
9. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
10. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
12. 新型コロナウイルス対応及び各会場における観客制限等につきましては、公式ホームページの「出場校関係者および来場予定のみなさまへ」をご確認ください。